

NATOKEN 学生選書ツアーを開催しました（2023年度第1回 学生選書）

文化財学科 教授（司書課程担当） 竹田 芳 則

2019年10月、当時の本学司書課程担当の嶋田学教授が、司書課程履修者に呼びかけて「奈良大学図書館情報学研究会」（略称：NATOKEN）が発足しました（『みささぎ』第30号参照）。しかし、その後のコロナ禍により、長らく活動を中断せざるを得ませんでした。2022年12月に、後任の竹田が新たに学生に呼びかけて、活動を再開することになりました。

現在までに、本学図書館のバックヤードツアーや、国立国会図書館関西館の見学、生駒市図書館で開催される「全国大学ビブリオバトル」予選会出場、図書館司書の職員採用試験に向けた勉強会など、参加学生それぞれの関心に合わせた活動を行っています。

また、参加学生が一緒に取り組んでいる活動として、本学図書館のカウンター横のスペースを使ってのテーマ展示があります。ふた月毎にテーマを決めて、学生が図書館蔵書から選んで展示をしています。毎回のテーマは、予定されるトピックなども考えながら、学生たちがアイデアを出し合い決めています。

2023年10月5日、ジュンク堂書店奈良店（ならファミリー内）にて、NATOKENの学生7名が参加して選書ツアーを開催しました。この選書

ツアーは、12・1月のテーマ「ようこそ2024」の展示図書のために企画したものです。今回は新刊書も含め、図書館蔵書以外から選書できるとあって、参加者は張り切って、1冊1冊、吟味しながら選びました。本が図書館に納品されると、選書した学生がPOPを作成し、それぞれがおすすめの言葉を添えました。カウンター横での展示期間終了後も、学生選書コーナーにおいてPOPとともに展開していますので、ぜひご覧ください。もちろん貸出もできます。

NATOKENでは、これからも引き続き、本学図書館での企画展示コーナーを担当するとともに、それ以外にも参加学生の興味関心に合わせた、多彩な活動を行っていきたいと考えています。毎週木曜5限の16:20からA棟4階のA421共同研究室で活動を行っていますので、だれでもお気軽にお越しください。図書館や図書館員にちょっとでも関心を持っている学生のみさんの参加をお待ちしています！



竹久夢二著作展 一装幀・楽譜表紙画・スケッチー

【会期】第一期：令和5年11月23日（木）～令和5年12月8日（金）

第二期：令和5年12月11日（月）～令和5年12月26日（火）

令和6年1月9日（火）～令和6年1月22日（月）

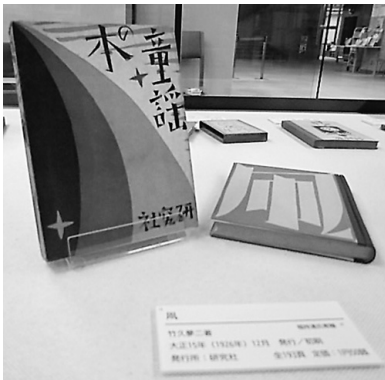
過去3回の展示でも好評をいただきました竹久夢二の著作展を、令和6年の夢二生誕140年、没後90年にあたるこの時期に合わせて開催しました。

平成15年に元都ホテル社長の福持通氏より寄贈された夢二の初刷本や、その後購入した夢二装幀のセノオ楽譜など、奈良大学図書館所蔵の夢二に関する資料の中から75点を、資料の展示と保存の観点から2期に分けて紹介しました。

【主な展示作品】

注：*は福持通氏寄贈／初刷

・竹久夢二著書



福持通氏より寄贈された竹久夢二の著書は、どれも出版当時を偲ばせる状態の良さが特徴です。その中から夢二の生前に発行された初刷本

を中心に展示しました。

『夜の露臺』*（第1期）

『夢二画集 秋の巻』*（第1期）

『夢二画集 春の巻（第4版）』『同（第8版）』（第2期）

『山へよする』*（第2期）

『凧』*（第2期）

・楽譜表紙画



夢二が手掛けたセノオ楽譜の表紙画は、バラエティに富んだデザインが魅力のひとつです。夢二の作風の幅広さを感じていただきたく、敢えて楽譜No.の順番に展示しました。

『悲しきワルツ』（第1期）

『涙』詩：竹久夢二（第1期）

『紡車』詩：竹久夢二（第2期）

・こどもへのまなざし

夢二がこどもへ向けて手掛けた著書を展示しました。「夢二式美人」の女性像でつとに知られている夢二ですが、こどもに対してもあたたかい眼差しを向けていました。

『夢二畫手本1』*『夢二畫手本2』*（第1期）

『どんたく絵本1』『どんたく絵本2』（第2期）

・スケッチ



『竹久夢二スケッチ畫集』吾八（100部限定（23番））*

風景や女性像など夢二のスケッチ30枚の中から第1期、第2期合わせて18枚を展示しました。

会期中に、新聞、テレビで取り上げていただいたことで、学外からも多数のご来館をいただきました。展示をご覧になられた方からは「奈良大学にこのような資料があることを知らなかった」「展示されていない他の資料も見たい」などのお声をいただきました。

2023年度ミニ展示 (カウンター横テーマ展示) 一覧

- 【4・5月】はじめての〇〇 (奈良大学で学生生活を始める新入生に向けた展示)
- 【6・7月】マスク明けの〇〇
- 【8・9月】9月を楽しもう～9月って地味だけど実はやることあるんです!～
- 【10・11月】おかしな秋を動いて、食べて、健康に
- 【12・1月】ようこそ2024 (新年を迎える季節の展示)
- 【2・3月】リア充な春休み (バレンタインに関する資料など)

展示する資料を選ぶだけでなく設営やPOP・ポスター等の作成も NATOKEN で担当してもらっています。



多読図書コーナーに加わった 英語コミック

多読図書ではありませんが英語学習に役立つ本の仲間として、以前より『完全版ピーナッツ全集』(スヌーピーが登場するアメリカのコミック)や『ちはやふる』などのバイリンガル版コミックが配架されていました。

そちらに新しく『Demon slayer (鬼滅の刃)』『Dragon Ball Z』の英語コミックが加わりました。あの台詞はどのように英訳をされているのか、気になる方は多読図書コーナーへどうぞ。

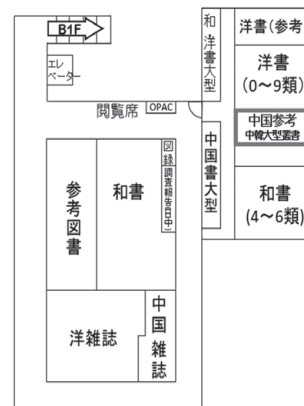
多読とは

英語の勉強方法の1つに「多読」があります。分からない単語があっても辞書を引かずにそのまま読み飛ばし、次から次へと大量の英語の本を読みます。そのため絵本のような簡単なものから、ハリーポッターシリーズなど読み応えのあるものまで色々なレベルの多読図書が用意されています。多読図書コーナーは図書館に入って左側、検索コーナーの奥にあります。

前号に引き続き、 館内の書架移動について

令和4年度から5年度にかけて、地下2階の書架の調整をしています。中国参考書は下図「中国参考」に、韓国文集叢刊・四庫全書等は下図「中韓大型叢書」に配架されることになりました。この大型は図書の大きさではなく大部(冊数が多い)の叢書となります。

また、このフロアでは和書についても少しずつ移動を行っております。お探しの資料が見つかりづらい場合は2階カウンターまでお問い合わせください。



図書館統計 <2023年3月末の集計>

	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	増 減
開館日数	267	269	2
入館者数	50,778	61,084	10,306
図書所蔵数	576,725	648,874	(集計方法の変更)
雑誌タイトル数	6,402	5,763	(集計方法の変更)
貸出総数	32,012	31,555	▲ 457
内 学生※	28,109	29,979	1,870
相互協力利用(依頼)	234	195	▲ 39
相互協力利用(受付)	796	755	▲ 41

※通信教育部生を含む

日本図書館協会の調査による昨年度（令和4年度）の統計を掲載しています。図書所蔵数と雑誌タイトル数につきましては、「製本雑誌は図書所蔵数に含む」とした集計方法に合わせたので、前年度との増減が単純に比較できなくなっています。

他の部分について見てみますと、全授業の対面授業再開によるものでしょうか、入館者数・学生の貸出数が増加しております。一方、相互協力利用は他大学や研究機関との郵送による資料利用のため、移動の制限が緩和されるのに従い減少したと考えられます。

【お詫びと訂正】みささぎ第33号の図書館統計におきまして、令和3年度の開館日数に誤りがありました。正しくは267日です。お詫びして訂正いたします。

後 記

「みささぎ」第34号をお届けいたします。令和5年度になり、ようやくコロナ禍前のように図書館をご利用いただくことができるようになりました。学生の皆さん、教室棟の近くに図書館はありますので、ちょっとした空き時間など、どうぞお気軽にお越しください。

最後になりましたが、NATOKENの活動についてご投稿いただきました、司書課程ご担当の竹田芳則教授に御礼申し上げます。 (編集担当)

発行：令和6年3月30日

編集：奈良大学図書館 奈良市山陵町1500